

すみよし



2015 被昇天号 第196号

聖句

しかし、あなたがたの間では、そうではない。
あなたがたの中で偉くなりたい者は、皆に仕える者になり、
いちばん上になりたい者は、すべての人の僕になりなさい。

マルコ 10 章 43－44 節

This, however, is not the way it is among you. If one of you wants to be great, you must be the servant of the rest ; and if one of you wants to be first, you must be the slave of all.

Mark10 : 43－44



[目次](#)

選 : E.I.

《 被昇天と私たち 》

傘木 澄男 神父

聖母の被昇天をお祝いする私たちには、この真夏の暑さもいくらか爽やかなものに感じられます。「無原罪のおとめ・神の御母マリアは、その地上の生涯の終りに身体と靈魂ともに天の栄光に上げられました。このことを神から啓示された信仰箇条として宣言し、定義します」と聖母被昇天の信仰が莊嚴に宣言されたのは、1950年11月1日のことでした。この教義決定は、軽々しくなされたものではなく、何世紀間も待ちに待たれ、世界中の信者から求められ、神学者から十分に準備され、全世界の司教団の判断に従ってなされたもので、正に真理の靈、聖靈の御業でした。これによって、マリアが御子イエスと同じく身体とともに天国の栄光の内におられること、そして神ご自身がこの真理を私たちにお教えになったこと、この二つが確実な真理となりました。救いの計画の中で、マリアは御子イエスと完全に一体です。ですから地上の旅路でも、天上の栄光においても、マリアは御子イエスのおられるところに、ご自分の全存在をもって、即ち靈魂と身体ともに全人格をもって、いなければならない御方です。被昇天は、無原罪の恵みの内に罪の影もなくひたすら神に向かって清く生き抜かれた御方、神の御母として神とのこの上なく親密な完全な一致の内におられる御方であるマリアにとって、当然なことと言うべきでしょう。

キリスト信者の真の姿は「キリストに従い、キリストとともにいること」にあります。キリストは十字架の犠牲によって世の救いを全うされたのち、復活して天に昇られ、その魂とお身体はともに天の栄光の内にあります。キリストに一致してこの世の命を全うし、復活の恵みを受けて靈肉ともに天に上げられるならば、その時キリスト者の姿は完成されます。その救いの完成に、聖母マリアは被昇天という特別の恵みによって実際に与られたのです。マリアにおいて完全なキリスト者の姿が実現し、人間の救いが完成しました。聖母の被昇天は、この救いの完成の姿を私たちに明らかに示しています。



私たちは皆、このマリアと結ばれマリアを手本として、この完全な救い、被昇天の恵みに与ることを目指して生きて行く者となったのです。これが聖母被昇天の意味です。聖母が天国におられるとしても、聖人たち同様、被昇天の恵みもなしに完全な救いを待っている状態におられるかも知れない、などと想像することができるでしょうか。実に被昇天は、聖母に与えられた特別な恩恵というより、キリストの救いの秘義そのものを明らかにする重大な真理だ、ということが分かるのです。

聖母の被昇天のあとは、聖母の子供たち、私たちの被昇天です。私たちもまた霊肉ともに天に上げられるよう召されています。キリストの幸せに、聖母の幸せに、私たちも与るのです。聖母はこの世を心から愛して全ての務めをふさわしく果たされ、天上の御子イエスを慕い、待ち望みながら、地上の旅路を終わり、御子に引かれるようにして被昇天の恵みに入られました。私たちも聖母の被昇天を黙想して、善い死を遂げる恵みを心から祈りたいものです。私たちがキリストを信じ、キリストと十字架を共にして、その苦しみと希望に与って行くならば、マリアの死がそうであったように、死は別れでも不幸でもなく、再会の慰めと喜びをもたらすものとなるでしょう。キリストと共に生きる幸せな生、キリストの内に御父の御許に帰る幸せな死が、マリア様の御手から、どうか私たちにも与えられますように。



目 次



☆ 聖句	E.I.	・ ・ ・	1
☆ 巻頭言	傘木 澄男神父	・ ・ ・	2-3
☆ 目次		・ ・ ・	4
☆ 住吉教会創立 80 周年によせて	A.T.・A.S.	・ ・ ・	5
☆ 初聖体		・ ・ ・	6-7
☆ サムエルナイト		・ ・ ・	8-9
☆ 神戸地区東ブロック合同堅信式		・ ・ ・	10-11
☆ 神戸地区大会		・ ・ ・	12-13
☆ バーベキュー大会		・ ・ ・	14-15
☆ 教会学校サマーキャンプ		・ ・ ・	16
☆ 甲山墓地での追悼ミサ・墓参に参加して	N.K.	・ ・ ・	17
☆ 新生計画 20 周年の振り返り	T.U.	・ ・ ・	18-19
☆ 教会と離婚・再婚者	傘木 澄男神父	・ ・ ・	20-21
☆ レジオ・マリエ入会のおすすめ	M.T.	・ ・ ・	22
☆ 連絡網整備について	R.K.	・ ・ ・	23
☆ 図書紹介	K.T.	・ ・ ・	24
☆ Come and See		・ ・ ・	25-26
☆ 教会日誌・(信徒動静)		・ ・ ・	26
☆ 後記		・ ・ ・	27

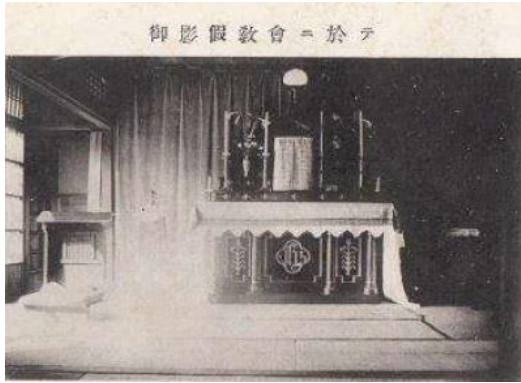
題字 J.Y.

表紙絵 W.S.

「すみよし電子版」はカトリック住吉教会 HP にフルカラーで掲載されています。

《 住吉教会 80 周年によせて 》

2015 年 5 月 5 日 住吉教会は、創立 80 周年を迎えました



1935 年 5 月 5 日 発祥の地
兵庫県武庫郡御影町



1936 年 12 月 13 日 現在の地に
聖堂と司祭館が献堂されました



住吉教会創立 80 周年おめでとうございます。80 年のうち 70 年間私は住吉教会と共に歩んできました。1946 年に堅信式、1968 年に結婚式、その他息子や娘の洗礼、堅信、婚姻も住吉教会でさせて頂きました。今までに頂いた沢山のお恵みに感謝して皆様方のお役に立ちたいと思っています。私達は神様からそれぞれ違った才能を頂いています。それをみんなで持ち寄り分かち合っ出来るだけ多くの人が教会の活動に係わっていただけたらいいなと思っています。

アントニオ・ジェラルド A.S.



80 周年の重みは、戦後 70 年、震災後 20 年という節目の数字を比べても改めて痛感します。

どれだけの人々が集い、お祈りを通して、灯火を繋いで来られたのかと考えたと胸に迫るものがあります。私自身、祖父母から両親、家族皆住吉で信仰を守り、そして子供達へとバトンを渡す世代となりました。感謝の思いと同時にこの先を担う私達の責任を考えると、不安を覚える事もありますが、これ迄同様、神様からは乗り越えられる試練しか与えられないと信じて、大切にすみよしの灯を守り継いでいきたいと思っています。

マリア・クララ・シャンタル A.S.



《 初聖体 》

2015 年 4 月 5 日

2015 年 復活の主日、住吉教会では 4 人のかわいい子供たちが初聖体を授かりました。1 年間かけてしっかりと勉強した子供たち、当日はほんの少し緊張の面持ちでしたが、ブラッドリー神父から渡された復活のロウソクを手に、4 人の眼はきらきらと輝いていました。

子供たちひとりひとりの上に神様のお恵みが豊かに注がれますように。



『はつせたいでたべたパン』

M. S.

ほくはミサ中にみんな
がパンをたべているのを、
ずっとうらやましく思っ
ていました。

『はつせい体』のおべん
きょうをリーダーたちがし
てくれて、今まで矢口らな
かったことをたくさん矢口
ることができました。

いつも ほくとーしに

いてくれて、まもってく
れている、ということです。

『はつせい体』の日にたべ
たはじめのパンは、
なんとなんあまくておい
しかったです。

目には見え ないけど、
ミサでパンをたべる
と、心の中があたた
か かん じ ました。

これからもおべん
きょうしたことをわすれな
い たいです。



初聖体おめでとうございます！



アンジェラ・メリチ

W.S.ちゃん

ペトロ

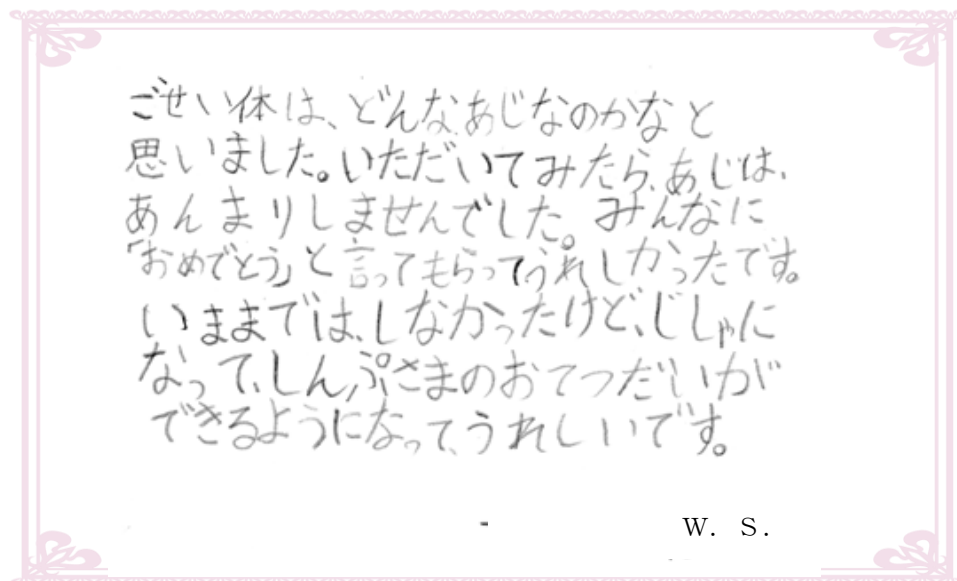
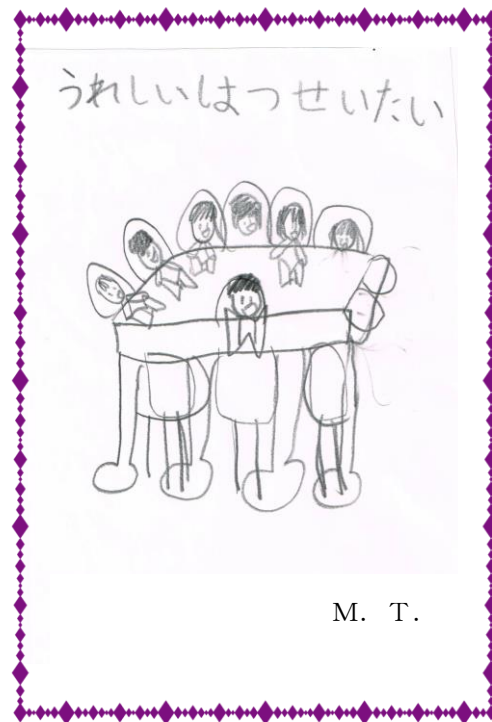
M.S.くん

クララ

M.T.ちゃん

ルカ

Y.T.くん



《サムエルナイト》

5 月 9 日～10 日

神戸中央教会と住吉教会の教会学校の合同お泊り会「サムエルナイト」、
今年は 5 月 9 日～10 日に「高山右近ってどんな人？」
というテーマで、住吉教会にておこなわれました。

一日目は、歩いて芦屋教会まで行きました。
4kmの道のり、低学年の子供達もがんばって歩きました。芦屋教会ではレジオ・マリエの皆様が
「高山右近」の人形劇を見せてくださり、
そのあと川邨神父様が子供達の質問に答える形で
たくさんのことを教えて下さいました。



暖かく迎えて下さった川邨神父様と
芦屋教会の皆様にご心から感謝！

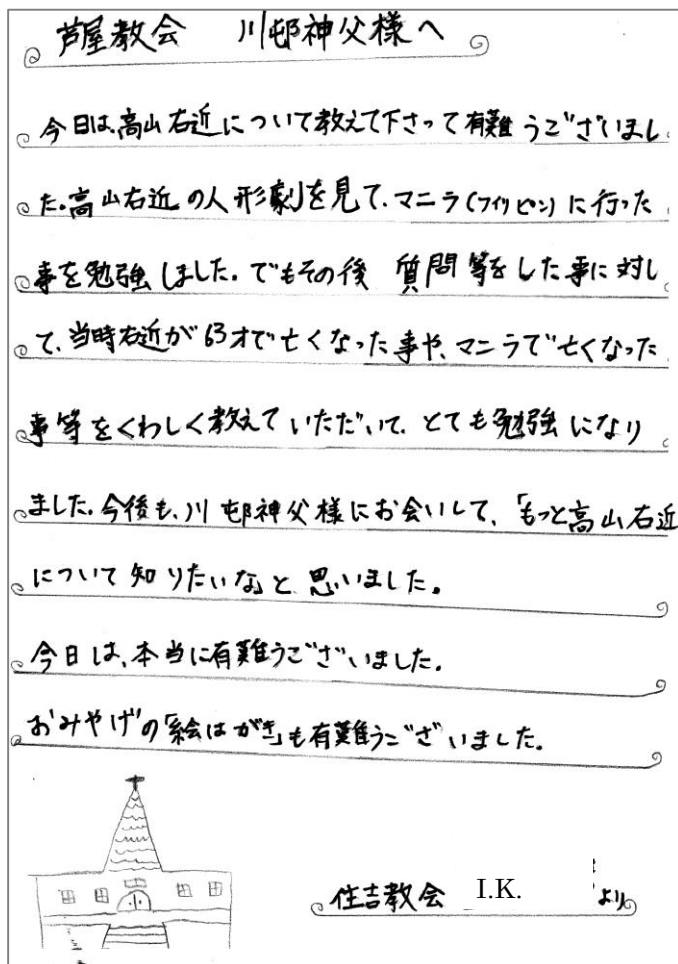
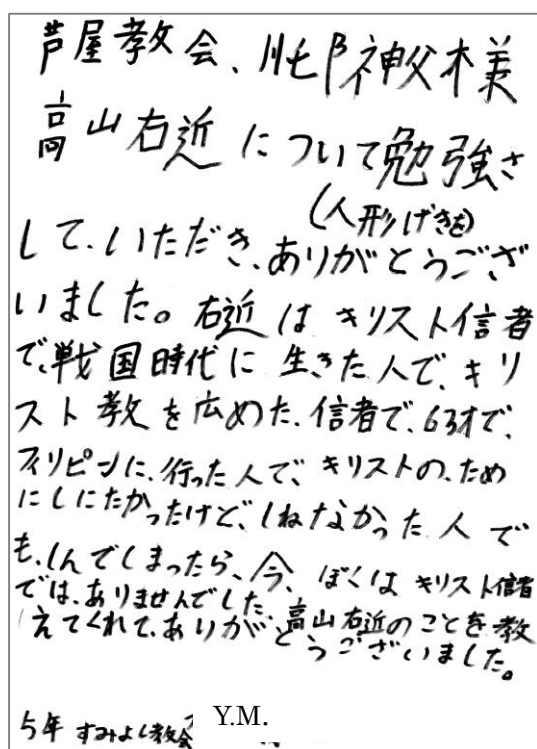
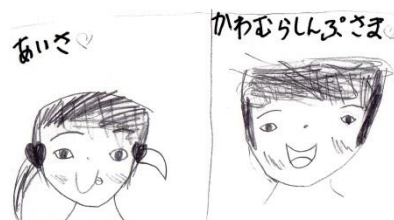
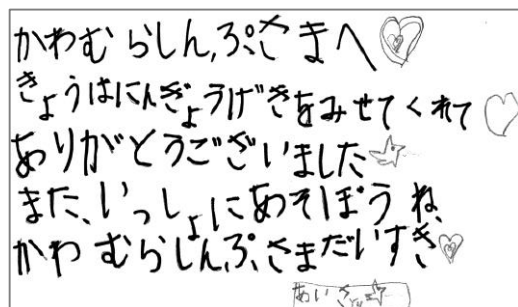
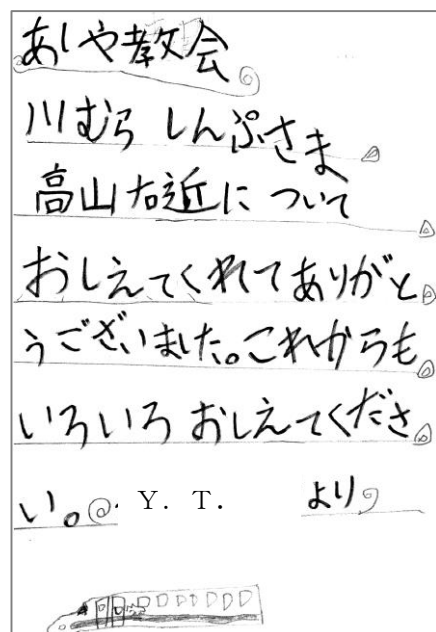
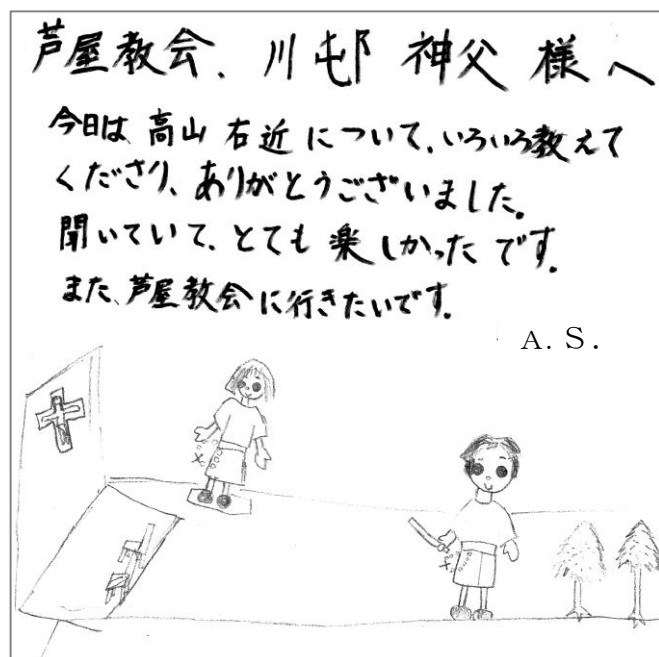
2 日目は、住吉教会の主日のミサにみんなで与りました。
先唱・朗読・侍者・奉納・献金のお役も上手にできました。



芦屋教会のレジオ・マリエの
皆様お手作りの人形での
高山右近の人形劇。その様子
を DVD にしております。住
吉教会連絡トレイの横のワ
ゴンに置いて貸出しをして
おります。



子ども達が、川邨神父様に宛てたお礼の手紙です。



《 神戸地区東ブロック合同堅信式 》

5 月 24 日（日）

聖霊降臨の主日に神戸中央教会において、前田万葉大司教の司式のもと神戸地区東ブロック 30 名の合同堅信式が行われました。（神戸中央教会・六甲教会・住吉教会・神戸中央教会英語グループ）

住吉教会からは 6 名の若い方々が、堅信の秘跡を受けられました。

大司教は説教の中で

「堅信は『堅く信じる』と書くとおりに、そのために教理を学ばなければいけませんが、やはり聖霊によって素直にそして強められて堅く信じるようになるのです。（中略）教会のため、受堅者のため、私たち一人一人と家族のため、そして全世界のために、聖霊の御降臨を祈りましょう」と呼びかけられました。

「受堅者に 聖霊の風 光けり」

前田万葉大司教の句にこたえて、受堅者も歌を交えてお礼の言葉をのべました。

「聖霊が 降りるこの日を いつまでも 忘れないよと 堅信記念」

堅信おめでとうございます。

平和のマリア	M.S.
マリア	A.Y.
アシジのフランシスコ	A.K.
ヨゼフ	T.K.
マリア・マグダレナ・ポステル	A.H.
ルカ	T.K.



堅信式は、とても神聖で荘厳な雰囲気でした。自分の名前を呼ばれ、いよいよだとドキドキしました。

堅信の秘跡を授かって思うことは、自分の人生は神様の元で成り立っている、と漠然と意識しだすようになったことです。キリスト教について、まだまだ知らないことが沢山ありますが、堅信式のことをしっかり心に残し、神様を意識しながら生活したいです。

堅信を授けてくださった神父様、お世話になりました皆様、ありがとうございました。

T.K.

堅信式を終えて

M.S.

私は5月24日に神戸中央教会にて、
堅信のお恵みを授かりました。

堅信準備の為に私たちは数回
勉強しました。そのおかげで私は神様
の存在を新たに知り近づけた
気がしています。

堅信式の日 大勢の方々がミサやパーティ
で私たちを祝福して下さい とても
うれしかったです。

私は教会の一員としてこれからも頑張り
たいのでお声をかけて下さい。

たくさんの事を教えて下さったリーダー方
私たちを支えて下さっている教会の
みなさんありがとうございました。

堅信を受けるにあたり勉強をして、
自分はいままで教会になんとなく通
っていただけだということを痛感し
ました。改めて学んだことで自分の
日々の行いやこれからの事を深く考
えるきっかけになったと思います。
堅信を節目に頑張りたいです。

A.H.

僕は、堅信の要理を 6 回受けましたが、なかなか理解をするのには難しかったのですが、教えてくださった方が僕の理解に合わせていただいたので、自分自身、大変為になったと思います。たとえば七つの秘跡のことについては大変わかりやすく説明を頂いたので、自分の理解も深まったと思います。

堅信式は普通御ミサとは違い、沢山の神父様がおられて、どんな事をするのかと緊張しましたが、要理のかがあって堅信の秘跡を受けることが出来て、大変嬉しく思います。

A.K.

5月24日(日)神戸中央教会で前田万葉大司教様から堅信の秘跡を授かりました。僕は幼児洗礼なので洗礼時には信者としての意識は特にありませんでしたが、初聖体では少し自覚し、中学三年となった今年、自分の意思で堅信を受けました。これから今の気持ちを大切に信仰を守っていこうと思います。合同堅信式の後、参列して下さった皆さんがパーティーで僕たちを祝福してくださっているのを感じ、嬉しく思いました。ありがとうございました。

T.K.

「最初」

A.Y.

リハーサルのために1時間前に教会に行くと、私の席に「1番」の札がおいてありました。順番の数字と教えてもらって「えーっ」とびっくりし、同時に2つの事が頭をよぎりました。

一つは「悪い意味の最初」。トップバッター。あまり緊張しない私も心臓が口から出るのではないかと思います。もう一つは「良い意味の最初」。祝福を1番にもらったことです。「人生で一度しかない堅信式で1番最初に祝福を受けることができる」ってよい事に聞こえるでしょう。

堅信式をとおして私は「最初」の大切さを知りました。いつも「最初」は誰かに譲っていたけれど、今度は自分からやってみようかなと思いました。これを知ったのも神様のおかげかもしれません。(原文 抜粋)

《 神戸地区大会 》

5 月 31 日

晴天に恵まれた 5 月最後の日曜日（5 月 31 日）、六甲学院に於いて「神戸地区大会」が開催されました。

第一部は、松浦悟郎司教と神戸地区司祭団の司式のもと「三位一体の主日」のミサが捧げられました。

ミサの始まる前に、たかとり教会のベトナムの方々の「光の献花」が行われました。



松浦司教は説教の中で

「三ということはとても大事です。愛するということは必ずだれかいないと実現しない、愛は相手のいるもの。そして私とあなただけの愛だとその外にいる人はさみしさを感じます。愛はそこだけで閉じた瞬間、閉じた人達とその外にいる人達を区別します。私とあなたというのから、その愛がその外へあふれて開かれていかないと本物の愛にはならない。開かれてひとつになっていく、そこに向かっていくのが、父と子と聖霊に命を受けている私達の使命です。

そのことを忘れない素晴らしいお祈り・一番簡単でいつでもだれでもできるお祈りは『父と子と聖霊のみ名によって アーメン』という祈りです。朝起きたとき『父と子と聖霊のみ名によって アーメン』、今日一日をあなたのみ名によって、あなたに開かれて、あなたの心がこの世界に実現しますように、今日一日を捧げます、と一日を始めてください。」

と呼ばけられました。

ホール前の各教会のブースでは、「ふっこの架け橋」の募金や洲本教会聖堂建設支援のための募金などがおこなわれました。



「神戸地区」のみなさん

今日の神戸地区大会は、私にとっては名古屋教区に移るに当たって神戸地区の皆さんに感謝と祝福を願う機会となり、とてもうれしく思います。これまで、新生の歩みをけん引してきた神戸地区の皆さんに心から感謝するとともに、「交わり証する教会になろう」とした大阪教区の選びを、これからも迷うことなく進んでいかれるように神様の祝福と励ましを心から祈りたいと思います。

これまで、本当にありがとうございました。

松浦悟郎

～神戸地区大会のパンフレットより



松浦司教は 6 月 13 日に名古屋教区の司教に着座されました。どうぞお元気で。
名古屋教区でのご活躍をお祈りしつつ。

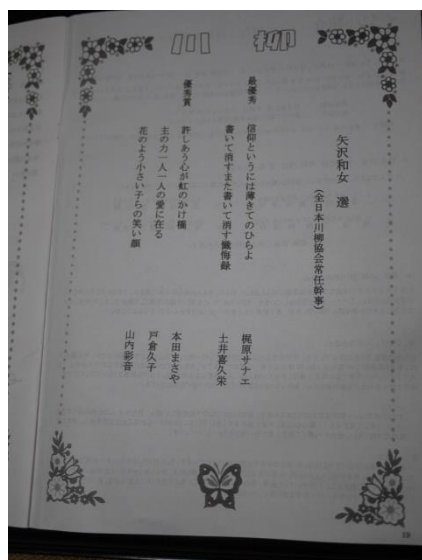
神戸地区大会第二部は、各教会の有志の皆様のご発表ではじまりました。

グレゴリア聖歌・吟詠「日本 26 聖人賛美の詩」・手品・フラダンスと盛りだくさん。

その後～「教えて！！人生の大先輩～」というテーマで、パネル・ディスカッションが行われました。傘木神父と各教会 7 名の大先輩の方々の「信仰生活」の興味深いお話を伺いました。

最後は、こいずみゆりさんの歌 2 曲で締めくくられました。

こいずみさんがマザーテレサのお言葉から作詞作曲された「Something beautiful for GOD」は、こいずみさんのご指導のもと参加者全員で歌うことになり、手話を交えた美しい歌声に、皆で声も心も合わせて歌いました。



神戸グレゴリアン・チャントの会



川柳応募 140 作品の中から、住吉教会の中学生・A.Y. さんの川柳が優秀賞に選ばれました。

「花のよう 小さい子らの 笑顔」



《 バーベキュー大会 》

7 月 26 日(日)

7 月 26 日 (日) 17:00～出合いの広場とパウロ・三木ホールで住吉教会夏の恒例行事バーベキュー大会が、神戸中央教会、六甲教会から神父様やお客様をお迎えして開催されました。先日の台風 11 号の大雨が大気の汚れを拭い去ってくれた夏の青空の下、楽しい交わりの時が流れました。

T 実行委員長のご挨拶から

「今日はたくさんのご参加ありがとうございます。
こういう機会を利用して、その中から私たちが
何を得て、何をしなければならないかを考えて
いきたいと思います。

この催しのモットーは「皆で準備して、皆で楽しみ、
皆でかたづける」です。暑い中早くから準備して下さった
皆さんに感謝いたします。」



食前の祈り

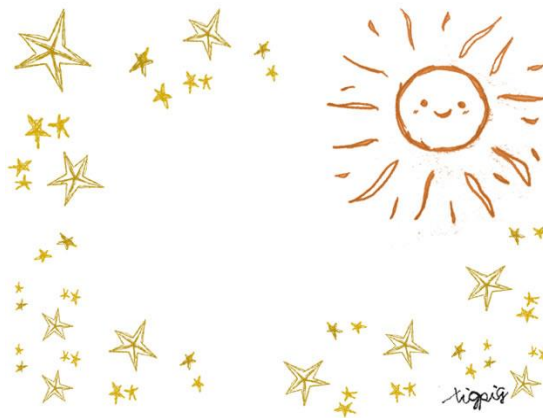


熱い炭火鉄板の前で汗を流しながら焼いて下さる中高生や皆さんに感謝しながら、どのテーブルからも賑やかな話声、楽しそうな笑い声があふれていました。辺りが暗くなった頃、子ども達は花火もしました。



暑い中、ありがとうございます。





おなかがいっぱいになったら、
遊びます。みんな元気！！



みんなで、写真撮影「1+1 は？」
「ニイ～～」(^ー^)



《 教会学校サマーキャンプ 》

2015 年 7 月 30～31 日

今年は久しぶりに教会泊のキャンプになり、ブラッドリー神父様、子供 27 名、リーダー 8 名で姫路城と姫路カトリック教会を訪ねました。

猛暑の中のキャンプでしたが、暑さに負けずなんと元気な子供たち！いつまで頑張れるのか、私たち・・・リーダーたちの心の声が聞こえそうではありますが・・・。

「神さまは私たちのおともだち」の声に励まされ、今夏のキャンプも無事に終わりました。

お食事作りのお母様方、お食事班のリーダー達、たくさんの力を借りながら、みんなで協力できたキャンプ。神さま、今年も心から感謝！！



キャンプの無事をお祈りしてさあ出発！



神父様のお話



お城の階段落ちないでね

涼しい！



姫路教会



《 甲山墓地での追悼祈念ミサ・墓参に参加して 》

墓地委員会 N.K.

5 月 27 日（水）、甲山墓地において帰天された司教・司祭の追悼祈念ミサがあり、前田大司教司式により、10 時 30 分から行なわれました。

教区では以前から司祭・修道者の集まり（月修）を兼ねて、5 月下旬に甲山墓地で帰天司教・司祭の追悼祈念ミサを行ってきました。一方住吉教会では今年の祈念堂閉鎖に伴い、ご遺骨を甲山の共同納骨所に移したことから、今回初めての試みとして墓参を兼ねて参加することにしました。参加者は遺族と生前予約者及び一般の方 25 名で、アメリカからの参加者もありました。

当日は好天に恵まれ、3 台の車で出発し、9 時 30 分頃に到着しました。ミサの開始 10 時 30 分までの約 1 時間を墓参に充て、故人のプレートの前と、住吉ゆかりの神父様の墓前で祈りを捧げました。前田大司教も、叔父様の前田 朴神父様の墓前で祈っておられました。参加した司祭の中には和田幹男、松本武三、矢野吉久、赤波江 豊神父の顔もありました。

ミサは前田大司教の主司式、松浦司教及び司祭共同で行なわれました。ミサ中、昨年 7 月に帰天されたアンドレア有馬志朗神父と、ここに眠る全ての人々のために共同祈願が捧げられました。

引き続き、有馬神父の納骨式が行われました。松浦司教は有馬神父が昨年まではこのミサに参加していたのに・・・と、早すぎる死を惜しまれるとともに、次の替え歌（？）を披露されました。

我々はよく、「♪しあわせなカタ**アリーマ**♪」と歌ったものです。

ミサ終了後昼になったので、皆で昼食をとりました。木陰のある通路で幼稚園からお借りした園児用の椅子と、黒田さんが用意された折りたたみ椅子に座って楽しく弁当を頂きました。

午後 1 時頃に無事教会に戻り、感謝の祈りを捧げて解散しました。

今回の費用はマイクロバスと弁当・お茶代で約 95,000 円でしたが、バス代の一部と弁当代として 1 人 1,500 円を集めましたので、差引約 59,000 円でした。なお、数名の方から献金を頂きました。お礼申し上げます。

当日の様子は、T.K.さんが撮影され、教会のホームページに掲載されていますので、合わせてごらんください。

以上

[目次](#)

《 新生計画 20 周年の振り返り 》 谷間に置かれた人の心を生きる教会へ

T.U.

祈り

あわれみ深い神様、「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣く心」をわたしたちにお与えください。わたしたちが、苦しんでいる人、傷ついている人、病んでいる人、貧しい人、災害に遭った人々、社会の隅に追いやられた人の隣人となり、あなたの救いの力に信頼して共に歩むことができますように。



マザーハウス理事長 五十嵐弘志さんとの出会い

6 月 20 日（土）18：00～21：40 まで神戸中央教会において、五十嵐さんと初めてお目にかかり、いろいろな話を聞き、意見交換する懇親会に呼んでいただきました。ブラッドリー神父様が全国の教誨師の集まりに出席された際、講演をされたのが五十嵐さんでした。

五十嵐さんは元受刑者の更生・社会復帰を支援する特定非営利活動法人マザーハウス（東京都渋谷区）理事長です。ご自身も元受刑者で、塀の中で日系ブラジル人のカトリック信徒と出会い、約 20 年に及ぶ拘禁生活の後、洗礼を受けられました。現在、カトリック本所教会の加藤神父様やエルナンデス修道士、信徒の人たちに囲まれながら奥様と子供さんとともに生活しておられます。そして様々な支援事業や全国講演をしながら活動を行っています。

五十嵐さんは首都圏では多くのカトリック教会や東京カトリック神学院で講演しています。関西ではプロテスタントの教会が多く支援してくれますが、カトリック教会ではまだ活動が理解されず、京都の教会で講演した時は、一人のカトリック信者と多くのプロテスタントの信者に支援してもらったとのこと。関西のカトリック教会での取組が急務です。



柔和な五十嵐さんは「受刑者にとって一番恐ろしいのは孤独です。」と述べておられます。そして前科者として社会から拒否され、受け入れられず、また悪の誘いを受け、累犯となってしまう悪循環を断ち切らなければならないと考えています。例えば、高校生のコーラス部が刑務所に慰問に来たり、子供たちと文通することで受刑者の心は癒されます。そこはドラマの世界と同じです。

しかし現実には、面会は親族か弁護士しか許可されず、支援団体の取組も厳しいものがあります。医療も塀の中ではほとんど受診できず、高齢受刑者の介護も受刑者が担当しているのが現実です。

私は職業柄、刑務所や大阪拘置所、警察署の留置場にも訪問した経験がありますが、現状は私の想定とは大きくかけ離れていました。大阪拘置所に行った際は、携帯電話を受付のロッカーに預けた後入る面会の待合室に、乳児を抱えた若い母親や一見してその筋の方や年配の家族らが居られ、緊張しながらもほほえましい風景も見られましたが、更生事業では、保護司の担当する保護観察は全員が受けられるものと思っていたにもかかわらず、ごく一部の人が対象で、しかもごく一部の期間であること、現実にはなかなか受けられないとのことでした。元受刑者の方にお目にかかったこともあります、静かな素朴な方々でした。

五十嵐さんは、「更生は（受刑者が）自分自身に向き合うことから始まり、それは苦しくつらい。逃げずにやり切るためには助けてくれる人が必要です。」と言われ、社会の人々に受刑者の現実を知ってもらい、文通や講演、会への物的支援を望まれています。有機栽培で希少種のマリアコーヒー（ルワンダ・コーヒー）（豆又は粉）を販売されています。

連絡先は電話 : 03-6276-0245

e-mail : maria_coffee@motherhouse-jp.org

価格は 900 円です。直接お申し込みをお願いします。

（追記）犯罪被害者支援連絡会は、様々な行政機関や団体が集まって構成され、各都道府県警察本部の中に事務局があり、定期的な会議には県警本部長が来賓として出席されています。こちらも幅広く継続的な支援が必要であることを申し添えます。

《 教会と離婚・再婚者 》

この問題を抱える信者のために

傘木 澄男 神父

カトリック信者が離婚して、教会の手続きを取らないまま、或いは取っても教会から認められなかったために仕方なく、教会外で再婚した場合は、聖体拝領ができない決まりになっています。この一文はこの問題を抱えている人、また事柄が理解できず困っている人の、ご参考のためのものです。先ず、或る人からの質問です。「私は離婚して再婚したカトリック信者です。再婚以来 20 年間も今の配偶者と暮らしています。その間ミサに与っていますが、聖体拝領は受けられないまま来ました。もし司祭が真に悔い改めている殺人犯を赦すことができるなら、離婚して再婚した者も赦せる筈ではないでしょうか。私は離婚の原因となるような事をしたことを、特に離婚で子供達に深刻な苦しみを与えた事を、真に悔んでいます。でも今の生活を変えることはできません。愛している今の配偶者と別れることはできないのです。単なる希望的観測でしょうが、神様はもう私を赦して下さったのではないかと正直心に感じています。でも教会は私が聖体拝領を受けてミサに完全に与るのを許すことを恐れている様なのです。離婚した信者が赦しを受けるには、何をしたらよいのでしょうか。罪の赦しは本当は罪人の心と神様との間にしかないものなのではないのでしょうか。」

まことに正直に明確に述べられているこの問いかけは、多くの人の情況にも通ずるもので、問題の解決策を模索している者の心にも切々と迫ります。これに対する司祭と教会の最初の反応は、同情と寛大さをもって応えたいとの思いです。しかし同時に、教会はキリストの教えの保持者として飽くまでも福音に忠実であらねばならないとの義務感を抱いています。「カトリック教会のカテキズム」は、共観福音書と聖パウロの第一コリント書に言及して、「主イエスは結婚を不解消とされた創造主の最初の意図を力説なさいました」（2382）と述べ、更に「結婚の絆を維持した状態での夫婦の別居は、教会法で規定されている条件の下では許されることがあります」（2383）と明言しています。しかし教会外の（即ち教会法上の手続きを経ないでした）再婚についてはカテキズムの言葉は厳しく明確です。「離婚は自然法に反する重大な罪です。それは、夫婦が死に至るまで共に生きると自由意志をもって同意した契約を破棄しようとすることです。たとえ民法上認められたものであっても、再婚すれば罪は一層重くなります。再婚した人は、公然の恒常的な姦通の状態にあります」（2384）。こういうわけで、秘跡の純粋性を保障する責任を持つ教会には、この重要な教えに違反した者に聖体拝領を認めることはできないのです。とは言え、教会も司祭も信者の良心の聖域に踏み込んで、その人が神の御前でどこに立っているかを宣言することは考えていません。それは究極的にはその人と主との間の私的な事柄です。でもその人は、明らかに良心に或る不確かさを感じており、同時に明らかに聖体を受けたいと熱望しています。

そこでその人に勧めたいのは、前の結婚について教会に教会法上の無効手続きを申請する可能性を、たとえ上記の質問者の様に一度それを申請して見込みがないとして却下された場合であっても再度、検討してみることを考えることです。屢々あることですが、結婚生活がかなり長い間続いた後でも、当初からの配偶者の一方または双方の側の性格的な未成熟とか情緒不安定とかの理由で、この関係はとても長くは続かないだろうと推測させる何かがあったことを、良く調べた上で確認することができるのです。ですからこの問題で悩んでいる信者への最上の助言は、とにかく迷わず直ぐに理解ある司祭に連絡して自分の状況を詳しく話して相談してみることです。

結婚の無効手続きと言っても、カトリック教会が離婚を認めたということではありません。離婚とは有効に成立した婚姻の解消ですが、もしも前婚を調べた結果何らかの原因で無効婚だったと証明されたなら、解消できるというより、むしろ離別しなければならず、当事者はこうして教会で再婚できる自由〈資格〉を得るわけです。こうした無効手続きは「分かり難い、躓きになる」など無理解や誤解を受けるのですが、教会はこれを決して秘密裡や、あやふやな根拠でしているではありません。今日大抵の教区に「婚姻裁判所（婚姻法務事務局）」があり、その目的は「離婚して教会での再婚を求める信者」を、断罪することではなく飽くまでも助けるためです。

教会が婚姻を、離婚の禁止を、これほど重大視する理由は、「神が結び合わせて下さったものを、人が離してはならない」との主の掟にあります。この言葉は従来とかく法的にのみ解釈されてきましたが、ここ何十年かは「教会の手続きにより二人が同意を表明して同居を始めれば、即『神の合わせ給うたもの〈有効な婚姻、キリスト教的婚姻〉』となる」というような古い月並みな受け止め方ではなくなっています。人間の心理と情緒の構造の理解においては著しい科学的進歩がありました。それにより私たちは、人が果たしてキリスト教的婚姻を結ぶことができるか、いつそれができるか、また土台その能力があるかどうか、をかなりの確に判断できるようになりました。婚姻が有効に成立するには当事者に精神的基盤と信仰の決意がなければなりません。どちらかが神を信じていなければ神は二人を婚姻によって合わせることはおできになりません。そこで今日教会は、キリスト教的結婚を「二人の、生きて成長する関係と法的契約」とに焦点を当てたこの新しい観点から見るようになったために、破綻した婚姻を徹底的な再検討のまな板に乗せることができるようになったわけです。教会はもはやそれを昔のように「絶望的情况」として避けたり棚上げしたりしてはいけなくなったのです。今日教会は同情と知恵をもって「この二人は人間的成熟（少なくともその可能性）を必要とする結婚の誓いを立てる能力があったのだろうか、真正な婚姻意思を損なう悪い意図はなかったのだろうか、そもそもこれはキリスト教的結婚だったのだろうか」と問うて、詳細に吟味してみるのです。その上で答えが「否」ならば、キリスト教的結婚は存在しなかったことになり、当事者は苦悩の過去を捨てて新たな出発をする自由を獲得するのです。教会は離婚した信者の板挟みに対しては常に深い司牧的配慮を示してきましたが、今はいっそうそのように努めているのです。

《 レジオ ・ マリエ入会のおすすめ 》

M.T.

大阪セナートス会長昌川信雄神父様のアロクチオ集より抜粋

レジオの精神は、マリア様の精神そのものです。わたしは要理を勉強している方に本当にカトリック的な信仰を培って行くためには、マリアの精神を学ぶことが早道だと考えています。そしてマリアの精神とは何かを知るためには、レジオに入るのが一番なのだ。

ですから、洗礼を受けた方にレジオをお勧めするのは、カトリック的な霊性、マリアの精神を身に着けるのに本当に役立ちます。皆さんもそうされるのはとてもいいことです。

集会は、毎週火曜日 9 時 30 分より御ミサに与かって後、第一会議室で行われます。

- ① 開会の祈りとロザリオ
- ② 霊的読書
- ③ 前回記録の朗読
- ④ 来訪者
- ⑤ 会員拡張
- ⑥ 点呼
- ⑦ 通信
- ⑧ 会計報告
- ⑨ カテーナ・レジオーニス
- ⑩ アロクチオ（神父様による講義）
- ⑪ 仕事割当
- ⑫ 討議



- ⑬ 終了の祈りと、フランク・ダフの列福を求める祈り、エーデル・クインの列福を求める祈りを交互に捧げ、司祭召命を求める祈りとなえ、閉会となります。

上記の順序で行われます。レジオは世界的に高度に洗練された組織をもっているグループです。

基本的会則（毎月最初の集会で、会長が、前回の集会記録に署名した直後朗読いたします。）この会則に従って、自分勝手な行動をせず、信仰のうちに、キリスト様の御教えを学び信仰を深め、マリア様と一致して、共に和をもって愛の精神が表れるよう、常に反省し、明るく努力を重ねております。

このすばらしいレジオ・マリエに入会してくださる方を募集しています。男性の方、若い方の入会も望んでいます。集会には、どなたでも参加できます。共に唱えるロザリオの祈りは心に沁みとおります。

目次

《 連絡網整備について 》

司牧チーム R.K.

住吉教会信徒は、その住所で 住吉川の東西、国道 2 号線の南北で 4 つの地区に分かれています。(下の地図参照)

従来はその ABCD 地区ごとに電話連絡網をまわして帰天者のお知らせ、教会行事の大祝日のパーティ当番に当たった時の手伝いに関する連絡等をしていました。

- ① 留守の方が多くて連絡が遅れる
- ② 電話連絡が最後までまわりにくい、というご意見が常にありました。.

近年パソコンや携帯電話の普及が一般的になり、教会でも検討すれば早く確実に皆様に連絡できるのではないかとのご意見があり、昨年アンケートをとらせて頂きました。

その結果 メール連絡希望 138、電話ファックス希望 69、ハガキ(年 3 回)希望 73、不要不明 64・・・(2014 年 12 月現在)となりました。現在のご要望の方法で連絡しています。それにともないホールのトレイも整理しました。

なお、メールは教会からの一方的な一斉送信ですので返信は要りません。

今後、住所や連絡方法など変更のご希望がありましたら

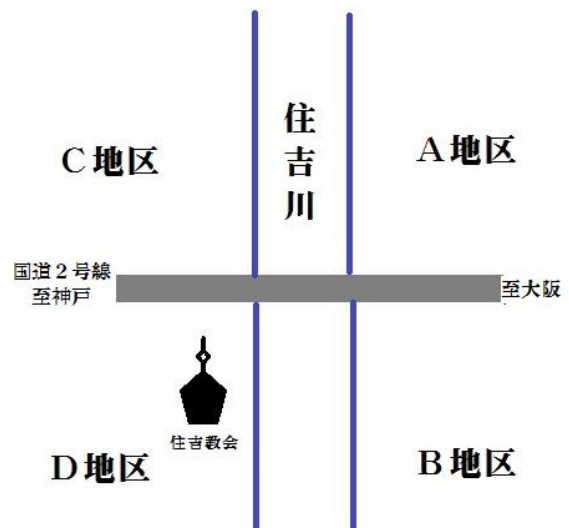
評議会 U 議長、T 副議長

各地区世話係 A地区 R.K. B地区 M.N. C地区 M.H D地区 K.T. までお知らせ下さい。

「従来の電話連絡のほうがお互いの交流ができた」というご意見も聞きます。

どのような連絡方法でも連絡内容を心に止めて、お互いが仲良くできたらいいですね。

「ミサに行きたいのに行かない」「神父様に来て頂きたい」「こんな事ででも教会とつながってほしい」などのご意見はどうぞご遠慮なくまわりの方に伝えて頂けたら嬉しいです。



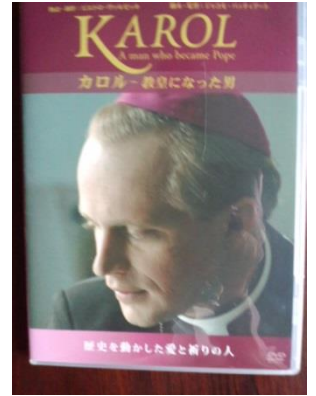
目次

《 図書紹介 》

K.T.

「カロール・教皇になった男」DVD

1930 年代のポーランド。カロール・ヴォイティワ（後のヨハネ・パウロ二世）は夢多き少年時代を過ごしていた。しかし最愛の母の死、そして医者を目指していた兄の死、第 2 次世界大戦に巻き込まれていく祖国。その夢は次々と打ち砕かれてゆく。群衆の中で病弱な父を庇い、襲い掛かる戦闘機の射撃下を逃げ惑う時、悲しい死の数々を目前にして絶望にうちのめされるカロール。ナチスドイツによるユダヤ人、ポーランド人迫害、ソビエト連邦軍の侵入。ポーランドを誇りとする近しい学友や神父、教授達も殺されてゆく。（1939～1945、300 万人の非ユダヤ系ポーランド人、コルベ神父はじめ 3000 人の聖職者が殺害されたと言われている。）これらの出来事は、学生から労働者となり、又詩人でもあり、聖職者、神学校の教師へと進む彼の原点となる。どんな時にも武力ではなく「愛」による解決を説き言葉で人々を勇気づける彼は、1978 年教皇に選出されヨハネ・パウロ二世に、2014 年列聖され聖ヨハネ・パウロ二世になりました。全編を流れるエンニオ・モリコーネの美しい旋律が、ポーランドの人々の国を制圧された悲しみを伝えます。（参考 DVD 紹介文ほか）



※ 1 階ホールの東壁際の棚上、DVD コーナーのケースに入っています



「忘れ物のぬくもり」聖書に学ぶ日々

女子パウロ会出版

塩谷 直哉

（日本キリスト教団牧師 1963 年宮崎県生まれ）

東京梅ヶ丘教会の牧師として、青山学院大学の講師として、府中刑務所の教誨師として又「あけぼの」の筆者として話された事、書かれた事等が優しい平易な言葉の中に、独特のユーモアを交えて語られている。時々故郷の宮崎弁もちょこっと顔をだす。日常の何気ない出来事、子供の頃の思い出の中にも、いつのまにかそこに神様がおられる。どの項も読む人の心を温かく包んでくれる。下記は一部切り抜きです。

♪三つの秘策＝いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。

神様と電話でお話するとしよう。一通り要件が終わり、電話を切ろうとするあなた。その時パウロはおそらく「切ってはいけない。受話器は上げたまま。常時接続で過ごしなさい。」とあなたに命ずる。あなたは反論する。「それではこちらのおしゃべりがつつぬけでしょう！」「もちろん、だからあんまり恥ずかしい事を言ったり、やったりしてはいけない。そのかわり悲しみに沈みきって言葉を失い、祈れなくなっても安心しなさい。あなたのため息、呻き、泣き声、全状況は常に天国が聴いているのだよ」「でも電話代がかかりますよ・・・」「心配するな。フリーダイヤルだ。全部神様が支払う。」

♪はだかんぼう

久しぶりにテレビで松田聖子の曲を耳にする。金もなく、智恵もなく、女の子にもてる事と、バイクにしか関心がなく、いかに要領よく成績を上げるかだけを考えていた。熱しやすく冷めやすく・・・中略・・・今教会の牧師として多くの人に神の言葉を語り・・・中略・・・感謝の言葉を受け偉くなった気がしてふんぞり返った私が、松田聖子の歌を聞くと一瞬の内に高校生に引きもどされ「勘違いしないでね。なんにも持ってなかったでしょ。」

兄が周囲の反対を押し切って高卒と同時にアメリカに行くを決めた時、父は兄を毎日のように非難し大学に進学を主張した。たまりかねた母が父に言い返したのは「あんた！偉そうなこと言っちゃるけど、自分が十八、十九のとき、何を考えちゃったか思い出してみなさい！」

わたしは裸で母の胎を出た。裸でそこに帰ろう。 ヨブ記 1.21

目次

《 Come and See 》

ブラッドリー神父と味わう洗礼の恵み

7 月 25 日（土）

7 月 25 日（土）15 時より、「ブラッドリー神父と味わう洗礼の恵み Come and See」の集まりの第一回が行われ 17 名の方が参加されました。

はじめの祈りは、音楽の流れる中、体をリラックスさせてしばらく黙想し、その後ブラッドリー神父の聖書朗読に耳を傾け、思いを巡らしました。忙しい日常を離れ、神様のことを思いおこし、自分を振り返り、召命を考える時間を持ちました。

ヨハネによる福音 1 章 35－39

その翌日、またヨハネは二人の弟子と一緒にいた。そして歩いておられるイエスを見つめて、「見よ、神の子羊だ」と言った。二人の弟子はそれを聞いて、イエスに従った。イエスは振り返り、彼らに従って来るのを見て、「何を求めているのか」と言われた。彼らが、「ラビー 先生という意味ー どこに泊まっておられるのですか」と言うと、イエスは「来なさい、そうすれば分かる」と言われた。そこで彼らはついて行って、どこにイエスが泊まっておられるかを見た。そしてその日は、イエスのもとに泊まった。午後 4 時頃のことである。

Fr.ブラッドリー：

イエスが、ついてきた人の問いかけに対して答えた「来なさい、そうすれば分かる」～英語訳では Come and see～ は、イエスからの呼びかけです。毎日私たちに声をかけて下さるこの呼びかけに答えないとはいけません。

Come and see の深い意味をブラッドリー神父が話されたあと、自己紹介を兼ねた分かち合いが行われました。そのあとブラッドリー神父は、

「洗礼を受けて 3 年の方も 70 年の方も、皆神様に『はい』と答えた方々です。そして大切なのは『はい』という答えが今も生きているのか、ということです。なんらかの形で神様のために時間をつくり、神様に向き合っていますか？

いただいた信仰の恵み、洗礼の恵みを皆で味わう集まりといたしましょう。」と話されました。次回は 8 月 22 日の 15 時からです。



ブラッドリー神父と共に
洗礼の恵みを味わう



『Come & See』

日時：7月25日(土) 15:00～
場所：カトリック住吉教会 第1会議室

*どなたでもどうぞ！

7 月 25 日 Come and See

終わりの祈り

天におられる私たちの父よ

み名があがめられますように、しかし私の名ではなく

み国がきますように、しかし私の国ではなく

み心が行われますように、しかし、私の望みではなく

あなたとの平和、人々との平和

私自身との平和をお与えください

清い心を私にお授けください

あなたを仰ぎ見ることができますように

謙虚な心をお授けください

あなたに耳をかたむけることができますように

愛する心をお授けください

あなたに仕えることができますように

信仰に満ちた心をお授けください

あなたのうちに住むことができますように

ダグ・ハマーショールド

《教会日誌》

2015 年 4 月 5 日	(日)	復活の主日 初聖体
4 月 18 日	(土)	教会学校始業式
4 月 19 日	(日)	小教区総会・評議会
5 月 5 日	(火)	住吉教会創立 80 周年
5 月 9 日-10 日	(土-日)	神戸中央・住吉合同サムエルナイト
5 月 24 日	(日)	神戸地区東ブロック合同堅信式
5 月 27 日	(水)	甲山墓地追悼祈念ミサ
5 月 31 日	(日)	神戸地区大会
6 月 7 日	(日)	小教区評議会
7 月 4 日	(土)	神戸中央土曜学校・住吉合同 川遊び
7 月 18 日	(土)	教会学校終業式
7 月 19 日	(日)	小教区評議会
7 月 25 日	(土)	第 1 回 Come and See
7 月 26 日	(日)	バーベキュー大会
7 月 30 日-31 日	(木-金)	教会学校キャンプ
8 月 6 日-15 日	(木-土)	日本カトリック平和旬間
8 月 6 日-10 日	(木-月)	ふっこうのかけ橋 2015
8 月 8 日	(土)	平和祈願ミサ (神戸中央教会)
8 月 15 日	(土)	被昇天ミサ パーティー

《 後 記 》

以前、ある大手新聞のコラムにこんなことが書いてありました。

「聖マリアと日本の逸話」

8 月 15 日	聖マリア被昇天	終戦記念日
12 月 8 日	マリア聖アンナの胎内御宿りとされる日 (無原罪の聖マリアの祝日)	太平洋戦争勃発
9 月 8 日	聖マリアの誕生日	サンフランシスコ講和条約調印
2 月 11 日	ルルドの聖母の祝日	建国記念日

一般紙にマリア様の御名を見つけ、この様な視点もあるのだなと驚かされました。
検索して再確認も致しました。少しは脳トレにも？
最近の新聞紙上にあふれんばかりの不穏な事件や事故。戦いをやめようとしめない人々。
行く末が案じられます。マリア様のお取りなしによる平和を願わずにられません。

M.M.

マザー・テレサは『私は神さまの手の中の小さな鉛筆。神さまが考え、神さまが描くのです』と言う言葉を残されましたが、大変立派な『絵』を描かれました。
日々の生活の中でつい自分の立場を忘れて願い事がかなわない時には不満に思い、努力した事に失敗してはがっかりしますが、それは神さまの描かれる『絵』に相応しい物ではなかったのでしょうかと気付かされます。

聖母マリアのお取次ぎによって、頼りなくても神さまの御手に委ねる事ができる素直な『鉛筆』になりたいものです。

A.M.

教会案内

ミサ

主日ミサ	日本語	日曜日	9:30
	スペイン語	第1・第3土曜日	19:00
週日ミサ		火・金曜日	9:30

講座

信仰講座 (Fr. 傘木)	第2・第4日曜日	10:45
信仰の分かち合い	第2・第4日曜日	11:00
聖書の集い	Fr. 傘木ミサ担当金曜日	10:15

(聖書の集いの日程は住吉教会へ電話でお問合せ下さい)

Come and See (Fr. ブラッドリー)	第4土曜日	15:00
---------------------------	-------	-------

教会学校	第1・第3土曜日	14:00-
	(小学校1年生～6年)	16:00

評議会	第3日曜日	11:00
-----	-------	-------

野宿者支援炊出し	第1土曜日	9:30
----------	-------	------

(住吉教会集合)



「すみよし」第 196 号

発行日	2015 年 8 月 15 日
発行責任者	ブラッドリー神父/コンスルタ神父
編集・印刷・発行	広報チーム
発行所	神戸市東灘区住吉宮町 2-18-23 カトリック住吉教会
TEL	078-851-2756
FAX	078-842-3380

<http://www.sumiyoshi.catholic.ne.jp>

目次